

総会宣言

本日、私たちは第 34 回年次総会において、さらなる運動の深化を実現するための向こう 1 年間の活動計画を確認しました。

「働く」を取り巻く環境は激変しています。私たちはウイルス禍で働き方やコミュニケーションの変化を経験し、気がつくところあらゆる場に AI やロボットなどが導入されています。そして 20 年以上もデフレで物価も賃金も上がらなかったが、昨今、物価の上昇は止まらず、2024 春季生活闘争では 33 年ぶりの 5% 超えの賃上げを実現しました。

また、本年 1 月 1 日に発災した能登半島地震をはじめとして、多発する自然災害も「働く」に大きな影響をもたらしています。

そのような状況だからこそ、人々は安心して、将来に展望がもてる働き方・生き方を求めています。多様な個人が多様な選択をできる社会には、働く人々がキャリア孤立に陥るリスクが存在するため、労働組合の連帯的役割は一層重要になっていきます。そのためにも労働組合の活動を活性化していくことが必要です。

また、連合ビジョンや運動方針でもうたわれているように、労働組合の役割は組合員の労働条件や就労環境の改善に留まらず、これまで以上に社会課題の解決や社会提言にも、役割と責任を担わなければなりません。組合の内側にいる組合員にむけた活動に加えて、社会という組合の外側にむけた活動に参加・参画することで、労働組合の社会的存在感を高め、すべての働く仲間とつながり、連合の政策と運動を広く社会に発信する、地域に顔の見える地協運動を実践し、共感と参加・行動の好循環を創り出していきましょう。

私たちは「社会と未来を変えていく ～仲間の輪を広げ、ともに進もう～」 「顔の見える地域運動を発展させ、新たな組織拡大につなげよう！」のローガンのもと、すべての働く仲間にとって、「必ずそばにいる存在」として、組織全体で思いを一つにし、力強く運動をすすめていくことを、ここに宣言します。

2024 年 11 月 15 日
連合新潟中越地域協議会第 34 回年次総会